

# 募集要項



# 2018 Indonesia Program

# 中学校プロジェクト<MI Pagedangan>

## ポイ捨て授業



インドネシアでは、ポイ捨てが大きな問題となっています。道は基本的にゴミだらけ。水管や下水などにも及び、空気汚染ももちろんあるため、とても非衛生的です。大きな原因として子供はおろか、大人でもポイ捨てが本来するべきものではないという認識がないということがあります。つまり、子供が目の前でジュースの箱を地面に投げたとしても、親は何も言わないのです。

そのため、ポイ捨てに関する授業を行います。ポイ捨てがどうしていけないことなのか。つまり、ポイ捨てによる被害を説明することで、自分たちにどれほどの悪影響があるのかを説明します。教材としては、自主作成したものを使用します。

授業後には、校内と学校周辺の清掃活動を一緒に行います。



## 教室整備

MI Pagedangan は私立中学ですが、国公立の学校よりも経済状況は厳しい学校です。現状は、雨などで教室が暗くなってしまうと黒板が見えなくなるため、途中でも授業を中断しなくてはならない状況です。しかし学校側は教室に電球を1つ入れるのが精一杯で、壁や黒板の再塗装を行う余裕はありません。そこで、古着回収を行い生まれた資金で塗装を買い、教室の整備を行います。再塗装により、光の反射をより利用することができます。



# 高校<SMA 28 Jakarta>

## ゴミ収集システムに関する授業

インドネシアでは、約76%のゴミが無分別、無処理のままゴミ山へと積まれていきます。(写真右)この山は今でも拡大していて、空気汚染や、水質汚染など、非常に環境に悪影響を及ぼしています。つまり無くすのが課題ですが、問題は周りに形成されるスラム街とその住人です。彼らはスカベンジャーと呼ばれ、リサイクル可能なゴミを拾って売って生計を立てています。(写真下)ゴミ山は彼らの生活源なのです。



この難しい問題を、ゴミ収集システムという観点から考えます。生徒に、よりこの問題を深く考えてもらうため、模擬国家を作成し、グループワークで政策を出してディスカッションをしてもらいます。この高校の生徒は大学進学するものもいるので、関心を持った人材を育成するのが目標です。

## JOC (ジャカルタお掃除クラブ)

今回、現地での活動と一緒にしてくれる現地の団体です。日本の、ポイ捨ては恥ずかしい、という意識をインドネシアでも広めようと国内全国で活動しています。活動内容としては、イベントやラジオに出たり、ゴミ拾い活動など多岐に渡ります。



## <スケジュール>

8・19	成田発ジャカルタ着
8・20,21-24	高校での授業、中学の教室整備の準備
8・25	中学校での活動
8・27-29	高校での授業
8・30	高校、中学校での活動
8・31	ジャカルタ発成田着

## <宿泊先>

Airy Eco BSD Serpong Boulevard Residence Tangerang



- ・ Free Wi-if 完備 ・ トイレ、シャワー完備（トイレットペーパーあり） ・ 毎朝飲み水のペットボトル
- ・ 部屋は鍵付き ・ 2人1部屋

## <参加費>

航空券代+参加費：15万円前後（大学からの一部補助あり）（航空券代6万円後は購入直後振込）

## <入国に必要な持ち物>

パスポート：残存有効期限6ヶ月以上のもの

## <応募方法> ※締め切り5月25日 23時59分まで

[rooteindonesia2018@gmail.com](mailto:rooteindonesia2018@gmail.com)

学年・学部・名前・連絡先・応募理由を記入してメール

※応募人数が多い際は、面接の上選考をさせていただきますのでご了承ください。